

令和8年第2回伯耆町議会定例会

一般質問通告書

令和8年6月10日該当日

目次

1. 森下 克彦 議員 (6 番)	2
2. 長谷川 満 議員 (7 番)	3
3. 永井 欣也 議員 (12 番)	5
4. 埴田 信二 議員 (1 番)	6
5. 乾 裕 議員 (9 番)	8
6. 渡部 勇 議員 (10 番)	9
7. 杉田 真也 議員 (3 番)	10
8. 其山 守美 議員 (2 番)	11
9. 大床 桂介 議員 (4 番)	12

1. 森下 克彦 議員 (6番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 新しい一般廃棄物処理施設の整備について	<p>西部広域行政管理組合が計画している、新しい一般廃棄物処理施設の稼働開始が5年間延期され、令和19年度に変更された。</p> <p>西部広域行政管理組合の副管理者である町長に問う。</p> <p>(1) 延期となった理由は何か。また、新施設の稼働開始の延期に伴い、既存施設の稼働延長等が検討されるとのことだが、伯耆町はどのように対処する方針か。</p> <p>(2) 新しい施設の設置事業負担金に充当するとして、基金の積立てを行っているが、稼働開始の延期により、この基金積立て計画にも変更が生じるのか。</p> <p>(3) 稼働開始が5年も遅れることとなり、事業費の大幅な増加が見込まれる。一方では、ごみ処理量の減少が進む中、この新しい一般廃棄物処理施設計画の見直しが必要ではないか。</p> <p>建設費の大幅な上昇が見込まれる中、既存施設の延命措置を図り、現状のまま対応した方がコスト計算的にも良いのではないか。</p>	町 長
2. 自衛隊の徒步行進訓練について	<p>本年3月、陸上自衛隊第8普通科連隊が、日南町・日野町・江府町・伯耆町内にわたって徒步行進訓練を行い、この訓練では、数十人の隊員が戦闘服を着用し、銃剣、小銃を装備して行ったようである。</p> <p>武器を携行して、町内の公道、町立溝口体育館などの公共施設を利用しての訓練については、町民の安心・安全を図るため、回避を求めるべきと考えるが、いかがか。</p>	町 長

2. 長谷川 満 議員 (7番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 若年層への予防医療・早期発見・意識強化は	<p>近年、医療は「治療」から「予防・早期発見」へと大きく考え方が変化しており、若い世代の段階で健康意識を持ち、将来の疾病リスクを下げていくことは、本人の人生設計だけでなく、将来的な医療費抑制や地域全体の健康寿命延伸にもつながる重要な視点であると考えます。</p> <p>(1) 本町における若年層、中でも学校健診終了後の「健診空白世代」へ向けた予防医療・早期発見施策の現状認識は。</p> <p>(2) 若年層へのプレコンセプションケアや具体的な施策の展開は。</p> <p>①今年度から取り組むプレコンセプション健康診査受診の流れ、啓発等の詳細は。</p> <p>②二十歳を祝う会等の節目の時期に、人間ドックの無料あるいは割引クーポン券の配布、健康アプリ登録等による健康意識啓発事業等、若年層への予防医療・早期発見・健康意識の強化につながるような伯耆町独自の事業を検討しないか。</p> <p>(3) 島根県美郷町が導入されたマイシグナル等、尿や唾液等を用いた新たなバイオ AI 技術による検査の導入について検討しないか。</p> <p>(4) 若年層への健康啓発には、自分自身だけでなく、「誰かの命を救う社会貢献」という視点に立ち、骨髄バンクのドナー登録や献血に対しての意識強化もより必要と感じる。これらに向けた課題は何か、また行動を促すための具体的な啓発対策などはないか。</p>	町 長

<p>2. 空き公共施設をチャレンジショップに</p>	<p>空き家バンク等、民間の資産を活用促進する施策が進み始めているが、一方で使われていない公共施設などの空きスペースが町内に多数点在していることは大きな課題である。</p> <p>また、近年の建築資材やエネルギー価格の高騰は店舗を構える際の固定費負担を重くし町内で「新たな挑戦」に向かう起業家が減少する要因となっていると考えられる。</p> <p>本来、暮らしにおける「住まい」「なりわい」は密接に関連しており、小さく始められるスモールスタート型支援は現代の地域創業支援の方法として最も適していると考えられる。公共施設等の空きスペースの活用と創業支援という二つの課題を掛け合わせることで解決の糸口になると考え、以下の点について伺う。</p> <p>(1) パルプラスオンや溝口テラソは利活用の事例となっているが、これ以外の町が所有する公共施設等の空きスペースの直近の状況は。また近年、民間に活用される計画、相談などはないか。</p> <p>(2) コロナ禍以後、町内における創業に対する動向、件数の増減はどのようになっているか。また、エリアごとの動向に差はあるか。</p> <p>(3) パーテーションなどの簡易な区切りで一部屋を区画化し、店舗コストを最小化するなど、「超低コスト型チャレンジショップ」で創業支援、地域活性化支援として取り組めないか。</p>	<p>町長</p>
-----------------------------	---	-----------

3. 永井 欣也 議員 (12番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
防災情報等のさらなる周知を	<p>このところ、全国的に大規模な林野火災や地震が相次ぎ、町民の防災への関心、意識の高まりを感じている。</p> <p>本町では「伯耆町地域防災計画」を策定している。この計画は、「風水害等対策編」、「震災対策編」、「大規模事故対策編」などからなり、本町における災害の防止及び被害の軽減並びに災害復旧のための諸施策に関する基本的事項を総合的に定め、もって防災活動の効果的な実施を図ることを目的としている。</p> <p>「第4次伯耆町総合計画」策定時の町民のニーズアンケートでも防災・防犯・交通安全の項目は重要度が非常に高くなっている。</p> <p>また、5月28日から気象庁による新防災気象情報の提供が始まったが、周知に不安との新聞報道もあった。</p> <p>このような状況を踏まえ、防災対策などについて、町長の所見を伺う。</p> <p>(1) 令和8年度一般会計予算提案理由のなかで、防災はハード整備だけでなく、日頃の備えと情報共有が何より重要であると述べられている。改めて防災対策についての基本的な考えを伺う。</p> <p>(2) 「総合計画」、「地域防災計画」とも防災無線設備の整備や情報通信システム整備の推進について述べられ、その運用については述べられていない。町民との防災や災害の情報共有に防災行政無線の活用は大変重要と考える。例えば、停電情報が放送されているように、林野火災注意報・警報（鳥取県あんしんトリピーメールなどで周知）の放送は屋外での情報取得に有効と考える。また、ケーブルテレビの障害の周知など、防災行政無線のさらなる活用についての考えを伺う。</p> <p>(3) 将来に向け、ホームページ・LINE等の活用による防災情報の配信について考えを伺う。</p>	町 長

4. 埜田 信二 議員 (1番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 消防団員の処遇改善 と活動環境整備を	<p>消防団は地域防災の要として重要な役割を担っている。しかし近年は団員確保が難しくなっていることに加え、経験のある団員の退団による技術や知識の継承も課題になりつつある。</p> <p>また、令和8年1月6日に発生した地震の際には、消防団による管轄エリアの被害状況の確認が行われ、出動人員は11人であったことが議会にも報告されている。</p> <p>こうした状況を見ると、今後の地域防災力を維持していくためには、団員確保だけでなく、現在活動している団員が継続して活動しやすい環境づくりも必要ではないかと考える。</p> <p>また、消防団活動は火災や災害対応だけでなく、パトロール、訓練、資機材点検など多岐にわたっており、訓練時には装備品や町からの貸与品だけでは賄えず個人負担となっている部分もあると考えている。団員の負担軽減と活動環境の充実を図る観点からも、分団単位で活用できる活動費等の支援が必要ではないかと考える。そこで以下の点を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 消防団員の重要性をどう考えるか。町長の見解は。 (2) 令和8年1月6日の地震における分団ごとの出動人員とその結果に対する受け止めは。 (3) 消防団員の確保と維持にどのような課題認識を持っているか。 (4) 団員報酬の引き上げなど処遇改善を検討する考えはないか。 (5) 個人への報酬とは別に、分団が消防活動を円滑に遂行するために必要となる諸経費を、各分団が柔軟に執行できる「活動費」として予算化・支給する考えはないか。 	町 長

<p>2. オムツ等を取り扱う自動販売機の設置を</p>	<p>本町では近年、子育て支援に力を入れており、子育て支援センターの運営や、今年度リニューアルされたちびっこ広場など、子育て環境の整備が進められている。</p> <p>一方で、乳幼児を連れての外出では、事前に準備をしても、想定外にオムツが不足することは決して珍しいことではない。すぐ近くに店舗がない場所では、急な対応が難しいケースも考えられる。</p> <p>近年では、飲料自動販売機に紙オムツやおしりふきを組み合わせた複合型自動販売機が、公共施設や観光施設などに設置されている。これらは日常利用を目的としたものではなく、外出時の緊急対応、いわば「安心づくり」の仕組みとして導入されているものとする。</p> <p>また、単なる物品販売ではなく、「子育てに優しい町」のPRにつながる可能性もあると考える。</p> <p>そこで、以下の点について町の考えを伺う。</p> <p>(1) 紙オムツ等を取り扱う自動販売機の導入について、町長の見解を伺う。</p> <p>(2) 複合型自動販売機の導入を求める声は寄せられていないか。</p> <p>(3) 子育て支援センターやちびっこ広場などへの限定的な設置について、どのように考えるか。</p> <p>(4) 災害対応自販機のようにラッピングを行い、子育て支援のPRや、「子育てに優しい町」の見える化として活用する考えはないか。</p>	<p>町長</p>
------------------------------	---	-----------

5. 乾 裕 議員 (9番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 男子への HPV ワクチン接種費用の助成を	<p>ヒトパピローマウイルス (HPV) は、性経験のある女性であれば 50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスである。</p> <p>子宮頸がんをはじめ、肛門がん、膣がんなどのがんや尖圭 (せんけい) コンジローマ等、多くの病気の発生にかかわっている。特に近年若い女性の子宮頸がんが増えている。一方で男性にも HPV ワクチンの適用が世界的にも拡大しておりヒトパピローマウイルスは、子宮頸がんだけでなく、男性も様々な場所に感染することで病気を発生させる。中咽頭がん、陰茎がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどがそれにあたる。</p> <p>茨城県土浦市では昨年度から、ヒトパピローマウイルス (HPV) の感染予防ワクチンについて男子の接種費用を助成している。今年 4 月からは子宮頸がんの原因となる感染を 8~9 割防ぐ効果があるとされる「9 価ワクチン」が追加された。同市では、小学 6 年生から高校 1 年生の男子に 9 価ワクチンの接種 1 回当たり 2 万 7918 円を上限に最大 3 回分の費用を償還払い等で助成している。本町においても同様の対応を実施しないか。町長の認識を伺う。</p>	町 長
2. 第 8 回ガソリン等購入助成券配布事業を	<p>イラン情勢に伴う原油価格の急騰が町民生活や事業活動を直撃し、影響が深刻化している。燃料価格は高止まりのままで、町民への家計支援として第 8 回のガソリン等購入助成券配布事業が望まれている。財源の課題はあるが創意工夫して取り組んでもらいたい。町長の見解を伺う。</p>	町 長

6. 渡部 勇 議員 (10番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 風力発電に代わる地 域活性化策は	<p>町長は風力発電事業に反対表明をされた。該当する地域においても人口減少や高齢化が進む中、交流人口・関係人口の拡大が重要課題である。そこで、自然・景観・農業資源を活かした「桃源郷的な地域づくり」による活性化が必要である。</p> <p>(1) 該当地域の観光・景観・農業資源をどのように評価し、現状の課題をどう認識しているか。</p> <p>(2) この地域において、景観・農業・文化を一体化した「地域ブランド形成」の可能性をどう考えるか。</p> <p>(3) 農業振興と観光を結び付け、そして、関係人口・交流人口を増やすための施策とはなにか。</p> <p>(4) 民間・地域との協働を図り、モデル地域として活性化プロジェクトチームをつくり推進する考えはないか。</p> <p>(5) この財源として地域振興基金の活用を考えないか。</p>	町 長
2. 伯耆町の保・小・中 一貫教育について	<p>保育所から小学校、小学校から中学校への接続を円滑にし、切れ目ない学びを実現する「保・小・中一貫教育」の考え方を推進する本町。そこで、町の教育方針について問う。</p> <p>(1) 保・小・中学校の連携を強化する必要性をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 小1プロブレム、中1ギャップなど、進学時の不安や学力・生活面の課題など、どのように把握しているか。</p> <p>(3) 保育士と教員の交流、児童生徒の交流など、現在の取り組み状況はどうか。</p>	教 育 長 町 長

7. 杉田 真也 議員 (3番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
太陽光発電火災時の安全確保は	<p>近年、一般家庭においても太陽光発電システムの普及が進んでいる。本町においても、自然エネルギーの活用を支援し、住宅用太陽光発電システム等を設置される方に対し、予算の範囲内で補助金を交付しており、設置件数も増えてきている。</p> <p>一方で、太陽光パネル火災の特異性が指摘されている。太陽光パネルは日射があれば発電が継続するため、消火活動中や鎮火後も再発火や感電のリスクがある。また、パネルの樹脂素材部分などが燃えることで有毒ガスが発生する恐れもある。</p> <p>こうした中で、見過ごすことのできない課題が、消防団員の安全対策である。特に、東京消防庁においても感電リスク等が指摘されており、消防活動における新たな課題として認識されている。</p> <p>このようなことを踏まえ、町長に以下の点について伺う。</p> <p>(1) 太陽光発電システム付き住宅火災に対する町長の認識を伺う。</p> <p>(2) 消防団員の感電リスク等に対する周知の状況について伺う。</p> <p>(3) 太陽光発電システム付き住宅火災に関する知識・情報をケーブルテレビや広報誌等を活用し、住民へも周知する考えはあるか伺う。</p> <p>(4) 太陽光システム付き住宅火災に備えた消防団員への絶縁手袋や長靴等の装備品を配布し、消防団員の安全確保に努める考えはあるか伺う。</p>	町 長

8. 其山 守美 議員 (2番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 町の魅力をPRする 観光大使制度の導入を	<p>住む人だけでなく、訪れる人、関係性のある人など、すべての人に魅力を感じてもらえる「未来に継続していくまち伯耆町」を目指して、第4次伯耆町総合計画がスタートした。5つの基本方針と明確な重点施策が位置づけられた計画や、今後10年が伯耆町の将来を左右する極めて重要な期間であると言われる小澤町長の意気込みに大いに期待をしている。</p> <p>豊かな自然環境に恵まれ、固有の歴史と文化をもち、多彩な観光資源のあるわが町の魅力を生かしていく方策について町長に伺う。</p> <p>(1) 伯耆町の魅力を町の内外に発信していく方法として、どのような施策を実施していこうとしているのか伺う。</p> <p>(2) 町の魅力を広くPRするため、地元出身の芸能人やスポーツ選手などを大使に任命する観光大使制度導入の考えはないか伺う。</p> <p>(3) その他、伯耆町に所縁のある芸能人やスポーツ選手など著名人との戦略的な連携を検討しないか伺う。</p>	町 長
2. 伯耆町教育の課題と 今後の振興方策は	<p>4月から橋本康雄教育長が新たに就任された。小中学校の教育現場や教育行政での豊富な経験と高い見識のある新教育長に大いに期待をしている。</p> <p>そこで、伯耆町教育の課題や今後の抱負について教育長に伺う。</p> <p>(1) 教育長に就任されて2か月を経て、あらためて本町教育の課題や今後の抱負について伺う。</p> <p>(2) 本年度は、第2次伯耆町教育振興基本計画の総合点検及び見直しを予定されているが、どのような見直しを考えているのか伺う。</p>	教 育 長

9. 大床 桂介 議員 (4番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1.ホームヘルプサービスの現状と人材確保について	<p>近年、全国的に障がい者・高齢者の在宅生活を支えるホームヘルパーの人員不足が原因でサービス提供に支障が出たり、事業所の閉鎖といった深刻な状況を耳にする。</p> <p>(1) 全国的な福祉サービスのニーズと供給体制における課題に対し、町長の認識を伺う。</p> <p>(2) 伯耆町内で障がい者・高齢者のホームヘルプサービスを提供している事業者数、それぞれのホームヘルパーの人数や常勤換算数、また、ヘルパーの年代別の構成数について伺う。</p> <p>(3) ヘルパーの高齢化がもたらす課題の有無と、その認識について伺う。</p> <p>(4) 障がい者に対するホームヘルプサービスの実利用者数、高齢者におけるホームヘルプサービスの実利用者数、また、町外事業所のサービスを利用しているケースの有無とその実態について伺う。</p> <p>(5) 令和6年3月策定の「伯耆町障がい者プラン」によると、障がい福祉サービスの利用実績と見込量において重度訪問介護、同行援護、重度障害者等包括支援が「0件」となっているが、今後必要な事例が生じた場合の対応について伺う。</p> <p>(6) 現在、町が実施しているホームヘルパーなどの福祉人材確保の取り組みと、将来に向けての計画について伺う。</p>	町 長
2.地域公共交通における運転手不足と今後の展望について	<p>町内で運行しているデマンドバスなどの地域公共交通における運転手不足が深刻化している実態を踏まえ、将来的な町民の移動手段確保に強い不安を感じている。</p> <p>(1) 町長としてどのような危機感を持っているか所見を伺う。</p> <p>(2) 地域公共交通の維持と運転手不足への対策について町の考えを伺う。</p> <p>(3) AIを利用した配車やルート最適化、LINEを活用した予約システムの導入についての考えを伺う。</p> <p>(4) スマートシュリンクを見据えた自動運転技術(レベル4等)の導入に向けた調査研究について町長の考えを伺う。</p>	町 長